

新・音楽の未来への旅シリーズ

いずみシンフォニエッタ大阪

第43回定期演奏会

「 妙趣恍然！ 大地の歌 」

飯森範親 (指揮)

Norichika Iimori (Conductor)

望月哲也 (テノール)

Tetsuya Mochizuki (Tenor)

大西宇宙 (バリトン)

Takaaki Onishi (Baritone)

いずみシンフォニエッタ大阪

Izumi Sinfonietta Osaka



© 山岸 伸



© FUKAYA Yoshinobu/auraY2



© Dario Acosta

中村滋延:《善と悪の果てしなき闘い 第一章》

(2015/2017 世界初演)

Shigenobu Nakamura: The Eternal Battle between Good and Evil, Chapter I

G.マーラー (川島素晴編):《大地の歌》

Gustav Mahler: Das Lied von der Erde (arr Motoharu Kawashima)

2020

2/8 [土] 16:00

15:15 開場 / 15:30 ロビー・コンサート / 15:45 プレトーク

【料金】一般 ¥5,000 / 学生 ¥1,000
いずみホールフレンズ会員 ¥4,500

【発売日】いずみホールフレンズ優先発売 9月27日(金)
一般発売 10月3日(木)



<http://www.izumihall.jp>

公式 twitter http://twitter.com/Izumi_Hall

いずみシンフォニエッタ大阪 facebook にて情報更新中!



<http://www.facebook.com/IzumiSinfoniettaOsaka>

いずみシンフォニエッタ大阪YouTubeページで
演奏アーカイブ公開中

チケットのお問い合わせ・お申し込みは

いずみホールチケットセンター 06-6944-1188 [AM10:00~PM5:30
日曜・祝日 休業]

いずみホール
オンライン チケットサービス
www.izumihall.jp/ticket/
24時間・座席指定で予約・購入できます

チケットぴあ pia.jp/t 0570-02-9999 コード: 160-369
ローソンチケット 0570-000-407 <http://l-tike.com/> コード: 53152
e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

主催: いずみホール [一般財団法人 住友生命福祉文化財団] 助成: 公益財団法人 花王 芸術・科学財団



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

大阪市助成公演



beyond2020プログラム
認証事業

生と死の彼方へ…いずみシンフォニエッタ大阪が磨く表現力が、音楽の地平を広げてみせます。関西にゆかり深い凄腕プレイヤーが揃い、現代音楽を軸に豊かな演目をとりあげているこの室内オーケストラ、第43回定期演奏会も新鮮な感銘を拓くプログラムに挑みます。

まずは大阪生まれの作曲家・中村滋延(1950~)作品の世界初演。彼は近年、古代インド起源の叙事詩『ラーマヤナ』を素材にしたアジア各地の民俗芸能に刺激を受けて、オペラや交響曲、映像音響詩など数々の作品を世に留めていますが、今回の『室内管弦楽のための音詩《善と悪の果てしなき闘い、第一章》』(2015/2017年改訂)は、インドネシアのバリ島で広く親しまれる舞踊劇《パロン・ダンス》に着想を得た作品。善の象徴・聖獣パロンと邪悪の象徴・魔女ランダの闘いを描く世界から、作曲家の想像／創造力が引き出すエネルギーと色彩の渦…オーケストラの妙技も満喫できるはず。

そして後半は、マーラーの傑作《大地の歌》(1908年)。李白や王維など中国詩のドイツ語訳を歌詞に、ふたりの独唱者がオーケストラと共に、人生の哀愁と喜び、彼岸への憧れ…と豊かな情感を歌いあげます。リート(歌曲)と交響曲を見事に融けあわせた全6楽章の大作、もともと大編成なのですが、敢えて室内オーケストラ版に編曲した試みも過去あれこれ。いずみシンフォニエッタ大阪も、2012年の《ウィーン音楽祭 in OSAKA》でシェーンベルク/リーン編曲の小編成版を演奏していますが、今回は当団プログラム・アドバイザーも務める作曲家・川島素晴が書き下ろす室内オーケストラ版新編曲での演奏です。…これは、飯森マエストロの「ぜひこの曲を、テノール&バリトン独唱版で演りたい!」という強い願いから。実は《大地の歌》の原曲、独唱陣は奇数楽章がテノール、偶数楽章はアルトかバリトンいずれかと指定されており、大半の演奏は(男女の対比が分かりやすいので)後者を女声のアルトが歌うのですが、バリトンを起用した例もバーンスタイン&ウィーン・フィル盤など、数少ないながら深み深い名盤に残されています。とりわけ長大な終楽章《告別》で、寂寥と永遠の別れを歌う独唱がバリトンに託されたときの深い色彩感…この「室内オーケストラ版でテノール&バリトン独唱」を実現するために、新たな編曲を必要としたのです。鬼才・川島素晴ならば限られた編成でも効果絶大な編曲で驚かせてくれるはず。望月哲也&大西宇宙と万全の歌唱陣を迎えて、さあ、ことばの彼方へ…

山野雄大(音楽ライター)

望月哲也 (テノール)

Tetsuya Mochizuki Tenor

東京藝術大学卒業。同大学院オペラ科修了。文化庁派遣芸術家在外研修員として渡欧。ウィーン国立音楽大学研究課程リート・オラトリオ科にて研鑽を積む。2006年ハンブルグ州立歌劇場共同制作『皇帝ティトの慈悲』タイトルロールで高い評価を得た他、新国立劇場等で『魔笛』タミーノ、『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『タンホイザー』ヴァルター、『ワルキューレ』ジークムント、『ラ・ボエーム』ドルフロ、『ヴォツェック』アンドレス等を演じている。コンサートでもバッハの『受難曲』のエヴァンゲリスト、『レクイエム』(モーツァルト、ヴェルディ)等で、サヴァリッシュ、アシュケナーズ、デュトワ、C.ミョン等の指揮者と共演。コンサートによる『望月哲也 シューベルト三大歌曲シリーズ』は、『冬の旅』(福田進一氏)、『水車小屋の娘』(朴葵姫氏)、『白鳥の歌』(松尾俊介氏)といずれも注目を集めた。CDはソロで『ひそやかな誘い~R.シュトラウス歌曲集』等を、また男声ユニット「IL DEVU」のメンバーとして『NUKUMORI』等をリリース。二期会会員。
<https://twitter.com/tmochizuki>



© FUKAYA Yoshinobu/auraY2

大西宇宙 (バリトン)

Takaaki Onishi Baritone

武蔵野音楽大学及び大学院卒業。全日本学生音楽コンクール第一位及びイタリア声楽コンクール金賞/バリトン特賞を受賞後、ジュリアード音楽院大学院に留学。2015年、シカゴ・リリック歌劇場の世界初演『Bel Canto』に出演し、アメリカでプロ・デビューを飾り、各新聞社、雑誌から称賛を得た。2018年まで同劇場の研修機関に所属し、『ロミオとジュリエット』、『エフゲニー・オネーギン』、『カルメン』、『真珠とり』、『清教徒』、『リゴレット』などに出演。アメリカの Opera News では特集記事も掲載された他、『次世代期待のオペラ歌手15人』の1人として紹介された。日本ではプレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団『イオランタ』(コンサート形式)、高関健指揮『戦争レクイエム』等と共演し、いずれも高評価を得た。2018年12月、プレミアオペラ財団国際声楽コンクールで優勝。カーネギーホールで行われたニューヨーク・オラトリオ協会の公演で『カルミナ・ブルーナ』、『クレルヴォ交響曲』等出演し、2020年には『ドイツ・レクイエム』で共演予定。2020年にはノースカロライナで『道化師』、『フィラデルフィア』では『蝶々夫人』に出演予定。第30回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。
公式ホームページ <https://www.takaakionishi.com/>



© Simon Pauly

飯森範親 (指揮)

Norichika Iimori Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、ブラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴュルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。現在、山形交響楽団音楽監督(07年から)、東京交響楽団正指揮者、ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。
オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



©山岸伸

いずみシンフォニエッタ大阪 Izumi Sinfonietta Osaka

音楽監督：西村 朗/常任指揮者：飯森範親

プログラム・アドバイザー：川島素晴/ソロ・コンサートマスター：小栗まち絵

現代音楽の演奏を主目的とする、いずみホールのレジデント・オーケストラ。大阪出身の作曲家・西村 朗の提唱により2000年に結成。以来、同ホールでの定期演奏会を主な活動とし、新作の初演をはじめとする近現代作品を中心に、古典派の作品もプログラムに組み、レパートリーを拡大している。核となる編成は1管編成の室内オーケストラで、曲目に応じて変動する。メンバーは、関西在住または出身など、地元ゆかりの演奏家で構成されている。平成13年度大阪舞台芸術賞受賞。CD「西村朗:室内交響曲集<メタモルフォーシス>」(カメラータ)の演奏は好評を博し、2005年度芸術祭優秀賞を受賞した。2005年、2008年と紀尾井ホールにて東京公演を開催し、好評を博した。



© 樋川智昭

第43回定期演奏会の出演予定者

ヴァイオリン	小栗まち絵、池川章子 永ノ尾文江、大谷玲子 佐藤一紀、島田真千子 釋 伸司、高木和弘、谷本華子	ヴィオラ	大江のぞみ 竹内晴夫 林 裕 村田和幸	フルート	安藤史子 オーボエ 古部賢一 クラリネット 上田 希 ファゴット 東口泰之	ホルン	垣本昌芳 藤田麻理絵 トランペット 菊本和昭 トロンボーン 風早宏隆	打楽器	山本 毅、杏野勢津子 中山美輝、細江真弓 ピアノ 碓山典子 ハープ 内田奈織 ほか
--------	--	------	------------------------------	------	--	-----	---	-----	--

いずみシンフォニエッタ大阪 第43回定期演奏会 ユースシートご招待

「本物の感動を今、若い世代に」体験していただくため、この公演に青少年をご招待します。この機会にいずみホールでクラシック音楽を聴いてみませんか。

先着順
限定数

- 対象 小学生以上 18歳以下
(公演当日、年齢の確認できるものをご持参ください)
- 申込開始 一般発売日 10月3日(木) 10:00~
- 受付 いずみホールチケットセンター

※お席は選べません。※16歳未満の方は大阪府の条例により保護者の同伴または同意の上、ご来場ください。
(同伴者のチケットは別途お買い求めください)
くわしくは
いずみホール ホームページ <http://www.izumihall.jp>
または、いずみホールチケットセンター 06-6944-1188へ

いずみホール [一般財団法人 住友生命福祉文化財団]

〒540-0001 大阪市中央区城見1-4-70
(JR大阪城公園駅より徒歩約5分、地下鉄OBP駅より徒歩約10分、京阪京橋駅より徒歩約15分、駐車場完備(有料))

●公演内容については一部変更される場合がございますので、ご了承ください。●お席は全席指定です。●チケットの料金には消費税が含まれています。●未就学児童のご入場はご遠慮ください。●学生券はいずみホールチケットセンター窓口でのみお取扱いしております。(限定数)

いずみホールへの サポートに感謝いたします。

オフィシャル・スポンサー(五十音順・敬称省略)

株式会社NTTデータ
総合警備保障株式会社
中西金属工業株式会社
住友生命保険相互会社

大阪西運送株式会社
大日本印刷株式会社
パナソニック株式会社

株式会社きんでん
株式会社竹中工務店
株式会社ベルシステム24

塩野義製薬株式会社
トランスコスモス株式会社
株式会社ヤマハミュージックジャパン